



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月12日

上場会社名 株式会社 安楽亭

上場取引所 東

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 時機

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 安部 一夫

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	12,303	△1.9	119	5.2	100	5.0	42	△27.6
30年3月期第3四半期	12,547	1.1	113	12.8	95	14.5	58	—

(注)包括利益 31年3月期第3四半期 21百万円 (△68.9%) 30年3月期第3四半期 69百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	19.76	—
30年3月期第3四半期	27.28	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	14,692	6,269	42.7
30年3月期	15,467	6,248	40.4

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 6,269百万円 30年3月期 6,248百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,730	△1.3	220	△36.8	200	△37.5	50	△66.4	23.38

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	2,139,434 株	30年3月期	2,150,434 株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	1,035 株	30年3月期	11,985 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	2,138,433 株	30年3月期3Q	2,138,589 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善が継続し、緩やかな回復基調にありました。しかしながら、米中貿易摩擦の影響や世界経済の不確実性の問題、金融資本市場の変動懸念や世界的な地政学リスクの影響を受け、先行きは不透明な状況となっております。

外食産業におきましては、牛肉等の原材料価格の高騰、また働き方改革、継続的な人手不足やアルバイト・パート時給の上昇等もあり、人件費を中心に販管費が上昇しております。また、消費者の生活防衛意識が一層高まる等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社グループは経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様のご要望に合う魅力あふれる「安全・安心」に配慮した商品の提供に加え、おもてなしの心を込めたサービスの提供に努めてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高123億3百万円（対前年同期比1.9%減）、営業利益1億19百万円（対前年同期比5.2%増）、経常利益1億円（対前年同期比5.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益42百万円（対前年同期比27.6%減）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭業態

安楽亭業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は187店舗であります。内訳は直営142店舗、暖簾13店舗、FC32店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、映画『パパはわるものチャンピオン』とのコラボ「俺が焼肉チャンピオンフェア」、「スポーツ割&スイーツ割、クーポン配信」、「ミスジ&きのこフェア」、「健康応援ヘルシークーポン配信」、「忘年会・新年会 早期予約早割キャンペーン」、「七五三特別クーポン」、「いい夫婦の日！割引クーポン配信」、「いい肉の日キャンペーン」、「創業55周年記念 生ビールキャンペーン」、「忘年会・新年会「直前割」キャンペーン」、「年忘れ★大感謝祭」等、安楽亭の楽しさを伝えるフェアやキャンペーンを行ってまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は101億73百万円（対前年同期比2.1%減）となり、セグメント利益（営業利益）は4億59百万円（対前年同期比7.3%増）となりました。

② 七輪房業態

七輪房業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は28店舗であります。内訳は直営24店舗、暖簾2店舗、FC2店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、毎月恒例の「牛ホルモンフェア」、「チゲ3種類割引クーポン配信」、「25%増量クーポン配信」、「肉の日クーポン」、「牛タン20%引きクーポン配信」、「七五三記念！割引クーポン配信」、「ホルモン、マルチョウ・麺類クーポン配信」、「お肉と海鮮20%引きクーポン」、「もつ鍋・牛ハラミ10%引きクーポン」、「七輪房の日」等、メルマガやLINEによるクーポン配信を行ってまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は18億26百万円（対前年同期比4.2%増）となり、セグメント利益（営業利益）は86百万円（対前年同期比31.7%減）となりました。

③ その他業態

その他業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は9店舗であります。内訳は直営4店舗、FC5店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「花炎亭（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「ロンチャン（中華）」、「アグリコ（イタリアン）」、「カフェビーンズ（喫茶）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は3億2百万円（対前年同期比24.5%減）となり、セグメント損失（営業損失）は7百万円（前年同期はセグメント損失23百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ7億75百万円減少し、146億92百万円となりました。これは、借入金の返済による現金及び預金の減少、減価償却による有形固定資産の減少等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ7億96百万円減少し、84億23百万円となりました。これは、借入金の減少等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ21百万円増加し、62億69百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上、その他有価証券評価差額金の減少等が要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成30年11月9日に公表いたしました「業績予想(連結・個別)の修正に関するお知らせ」から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,865,547	2,076,982
受取手形及び売掛金	415,774	393,871
商品及び製品	133,869	173,315
仕掛品	854	566
原材料及び貯蔵品	475,929	691,444
前払費用	202,916	209,078
その他	96,727	68,173
貸倒引当金	△226	△230
流動資産合計	4,191,392	3,613,201
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,880,068	2,815,182
機械装置及び運搬具(純額)	100,151	101,889
工具、器具及び備品(純額)	355,084	338,278
土地	5,003,923	5,003,923
リース資産(純額)	54,545	25,729
建設仮勘定	2,255	2,855
有形固定資産合計	8,396,029	8,287,859
無形固定資産		
のれん	54,460	44,248
その他	131,862	132,936
無形固定資産合計	186,322	177,185
投資その他の資産		
投資有価証券	94,931	72,832
長期貸付金	6,377	6,005
長期前払費用	21,149	21,036
繰延税金資産	142,875	117,208
敷金及び保証金	2,416,304	2,386,669
その他	38,333	36,458
貸倒引当金	△26,289	△26,102
投資その他の資産合計	2,693,682	2,614,107
固定資産合計	11,276,033	11,079,152
資産合計	15,467,426	14,692,354

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	624,620	666,701
短期借入金	901,818	3,244,652
リース債務	40,802	23,602
割賦未払金	188,346	183,321
未払金	169,967	195,205
設備関係未払金	75,226	55,083
未払費用	506,328	482,813
未払法人税等	149,631	30,943
未払消費税等	126,076	80,632
賞与引当金	72,800	40,584
転貸損失引当金	13,297	13,297
その他	569,890	503,247
流動負債合計	3,438,806	5,520,084
固定負債		
長期借入金	4,367,797	1,551,009
リース債務	16,786	3,204
長期割賦未払金	577,561	521,057
繰延税金負債	105,383	105,393
役員退職慰労引当金	351,481	364,553
転貸損失引当金	49,430	39,457
退職給付に係る負債	213,628	220,750
その他	98,534	97,534
固定負債合計	5,780,602	2,902,960
負債合計	9,219,409	8,423,044
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,537,261	2,472,098
利益剰余金	599,159	641,404
自己株式	△70,998	△6,072
株主資本合計	6,247,807	6,289,815
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	209	△20,148
為替換算調整勘定	—	△356
その他の包括利益累計額合計	209	△20,505
純資産合計	6,248,017	6,269,309
負債純資産合計	15,467,426	14,692,354

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	12,547,216	12,303,744
売上原価	4,535,989	4,494,710
売上総利益	8,011,227	7,809,033
販売費及び一般管理費	7,898,056	7,689,979
営業利益	113,170	119,053
営業外収益		
受取利息	1,481	1,260
受取配当金	1,893	1,881
受取地代家賃	5,426	5,493
貸倒引当金戻入額	583	181
その他	38,854	31,132
営業外収益合計	48,239	39,949
営業外費用		
支払利息	57,414	51,246
その他	8,000	7,003
営業外費用合計	65,415	58,250
経常利益	95,994	100,752
特別利益		
固定資産売却益	—	635
受取保険金	43,490	50,185
特別利益合計	43,490	50,821
特別損失		
固定資産売却損	243	—
固定資産除却損	3,033	7,375
減損損失	6,301	—
賃貸借契約解約損	9,153	1,556
訴訟和解金	9,000	3,287
特別損失合計	27,732	12,219
税金等調整前四半期純利益	111,752	139,354
法人税、住民税及び事業税	54,106	71,442
法人税等調整額	△704	25,666
法人税等合計	53,401	97,109
四半期純利益	58,350	42,245
親会社株主に帰属する四半期純利益	58,350	42,245

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	58,350	42,245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11,224	△20,358
為替換算調整勘定	—	△214
その他の包括利益合計	11,224	△20,572
四半期包括利益	69,575	21,672
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,575	21,672

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	10,392,062	1,753,776	401,377	12,547,216	12,547,216	—	12,547,216
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	10,392,062	1,753,776	401,377	12,547,216	12,547,216	—	12,547,216
セグメント利益又は 損失(△)	427,796	127,041	△23,094	531,743	531,743	△418,573	113,170

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては6,301千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、日総開発㈱から1店舗を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては37,666千円であります。

「七輪房業態」セグメントにおいて、日総開発㈱から1店舗を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては14,721千円であります。

「その他業態」セグメントにおいて、日総開発㈱から1店舗を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては15,686千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	10,173,896	1,826,901	302,946	12,303,744	12,303,744	—	12,303,744
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	10,173,896	1,826,901	302,906	12,303,744	12,303,744	—	12,303,744
セグメント利益又は 損失(△)	459,237	86,830	△7,091	538,975	538,975	△419,921	119,053

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。